

沖縄県から世界へ JICA 海外協力隊

新たに4名派遣・1名帰国

沖縄県各自治体・教育庁へ表敬訪問

国際協力機構（JICA）は、8～9月に沖縄県から4名のJICA海外協力隊員を派遣いたします。出発する4名と3月に帰国した1名が、沖縄県庁にて出発挨拶及び帰国報告を行います。また、各隊員は在住（または出身）自治体へも出発前の表敬訪問をいたします。現職教員特別参加制度などで派遣される教員の隊員は教育庁へも表敬訪問いたします。

派遣されるにあたっての決意や抱負、海外活動に挑戦するに至った思い、派遣先での活動内容などを隊員からうかがえる機会です。メディアの皆さまの取材をお待ちしております。

記

1. 表敬訪問日程（予定） ※敬称略

表敬先	日時・場所	表敬者
沖縄県 池田 竹州副知事	7月31日（水）11:30～12:00 県庁 副知事室	JICA 海外協力隊（出発4名・帰国1名）
沖縄県教育庁 半嶺 満教育長	7月31日（水）11:00～11:15 県庁 13階 教育長室	古見 優奈、亀濱 千比呂、稲嶺 萌恵
宮古島市 嘉数 登副市長	7月26日（金）13:30～14:00 宮古島市役所	亀濱 千比呂、宮平 明奈
南城市 古謝 景春市長	7月30日（火）10:30～11:00 南城市役所	瀬底 まなみ
北谷町 渡久地 政志町長	8月2日（金）14:30～15:00 北谷町役場	古見 優奈

2. 表敬者情報 ※敬称略

隊員区分	氏名	職種	派遣国	配属先	表敬自治体	派遣期間
（出発前）						
青年海外協力隊	かめはま ちひろ 亀濱 千比呂	障害児・者 支援	フィリピン	オトン中央小学校 特別支援センター	宮古島市	2024/09/03 ～2026/09/02
青年海外協力隊	せそこ 瀬底 まなみ	野菜栽培	ウガンダ	ルーラル・エージェンシー・フォー・サステナブル・ デベロップメント(RASD)	南城市	2024/08/07 ～2026/08/06
青年海外協力隊	ふるみ ゆうな 古見 優奈	小学校教育	ボリビア	オキナワ日本ボリビア協会	北谷町	2024/08/13 ～2026/03/20
青年海外協力隊	みやひら あきな 宮平 明奈	栄養士	タイ	ノンタブリー県保健局	宮古島市	2024/09/04 ～2026/03/20
（帰国後）						
青年海外協力隊	いなみね もえ 稲嶺 萌恵	小学校教育	ボリビア	オキナワ日本ボリビア協会	うるま市	2022/07/20 ～2024/03/20

3. 参考情報

(1) JICAボランティア事業とは

JICAボランティア事業は日本政府のODA予算により、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する事業です。開発途上国からの要請(ニーズ)に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。

(ア) 3つの主な目的

- ・ 開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与
- ・ 異文化社会における相互理解の深化と共生
- ・ ボランティア経験の社会還元

(イ) 1965年に日本青年海外協力隊として発足。初の協力隊員派遣国はラオス。

これまで世界98カ国に56,000人以上の隊員を幅広い分野に派遣しています。

(2) 沖縄県出身者の海外協力隊派遣実績

沖縄県からは本土復帰前の1968年に初めて海外協力隊が派遣されました。

沖縄県出身者として、これまでに累計638名の派遣実績があり、現在32名の隊員が活動中です(2024年6月現在)。

関連リンク：

- JICA海外協力隊事業の歩み
<https://www.jica.go.jp/volunteer/outline/history/index.html>
- 青年海外協力隊50年の歩み(動画)
<https://youtu.be/Q7MJzvKDhs8>

本件に関するお申込み・お問い合わせ先

独立行政法人国際協力機構(JICA) 沖縄センター 市民参加協力課 担当： 若月、田中
TEL 098-876-6000(代表) E-mail: oictpp▲jica.go.jp (▲を@に変換)